

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターぐるんぱさか(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2025年1月6日		2025年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2025年1月6日		2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 子どもさん一人一人の障害特性や気づき等のアセスメントを行い、個別化された支援を行っている。 構造化や視覚的支援等の手法を用いて、障害特性に合わせた環境設定を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続的にアセスメントを行い、子どもさんの実態(理解や気づき等)に合わせた支援を、職員全体で検討し、実施している。 視覚的なスケジュールを活用し、子どもさんが見通しを持って行動できるよう支援している。 子どもさんの理解に合わせて、視覚的な手立てを活用し、ルールや振る舞い方等の学習を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日頃から子どもさんの様子について職員間で共有する。 積極的に研修に参加するなど、職員一人一人のスキルアップに努める。 継続的にアセスメントを行いながら、手立てや活動設定等を行う。 必要に応じて再構造化(環境設定の見直し)を行い、より自立して活動に取り組むことが出来るようにする。
2	<ul style="list-style-type: none"> 建物内に生活介護、就労支援の成人の事業所もあるため、将来必要なスキル等を共有しながら、現在と将来の自立に向けた支援計画の作成や支援を行っている。 建物内に児童と成人の事業所があることで、幼児期、学齢期、成人期と切れ目のない支援を行うことが出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童と成人の職員間で、必要なスキルや社会性等の情報共有を行っている。 子どもさんの現状だけでなく、将来の自立に向けて必要な学習や機会設定を行うことが出来るよう、日頃から職員間で協議、支援の検討を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 他事業所との連携だけでなく、研修等にも積極的に参加し、職員一人一人のスキルアップに努める。 就学等の移行時には、関係機関で連携を図り、スムーズな移行が出来るようにする。
3	保護者の方や学校、関係機関との連携を密に行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 懇談や送迎時でのやりとりを通して、子どもさんの状況を共有し、必要に応じて対応方法のアドバイスを行っている。 学校や関係機関とは、送迎時や電話連絡等を通して子どもさんの情報共有を行っている。また、必要に応じて関係者会議等を開催し、共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に懇談を行い、子どもさんの状況を保護者の方と共有できるようにする。 保育所等訪問事業を活用しながら、学校や関係機関との連携を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの活動内容やスペースが限られている。 一室で活動しているため、感覚過敏のある子どもさんや適度な発散(体を動かす等)が必要な子どもさんの調整が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 提供できる活動(余暇支援等)が少ない。 体を動かす等適度な発散が必要な子どもさんについては、プレイルームでの活動を取り入れている。しかし、環境や職員体制上、すべての子どもさんに合わせた活動設定が難しいため、今後、建物内での活用できる部屋や活動内容を検討していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもさんの理解やスキル等を踏まえた活動を充実させていく。また、子どもさんによっては、発達年齢だけでなく生活年齢にも考慮した活動を検討する。 建物内の部屋を活用しながら、社会性や障害特性に合わせたメンバー調整や職員体制を調整して活動を設定していく。
2	避難訓練の実施、マニュアル作成・周知	<ul style="list-style-type: none"> 平日の利用時間や曜日によって利用される子どもさんが異なるため、避難訓練等の実施が難しい。 現在各マニュアルを作成中である。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活シナリオや職員体制を調整しながら、必要な訓練を実施できるようにしていく。 必要なマニュアルの作成を行い、保護者の方に周知する。
3	保護者の方向けの研修や交流の場の設定が出来ていない。	開所して間もないこともあり、体制が整えられていない。	<ul style="list-style-type: none"> 法人内の他事業所と調整しながら、保護者の方向けの研修等の実施を検討する。 保護者の方のニーズに合わせて、必要に応じて保護者同士の茶話会等の開催を検討する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援センターぐるんぱさか(放課後等デイサービス)						公表日	2025年2月14日		
						利用児童数	2025年1月31日 (14名)			
								回収数	12	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	1						
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	1						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12							
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	1						
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12							
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12							
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12							
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12							
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12							
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12							
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	3	3					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12							
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12							
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	5	1					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11	1						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12							
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12							
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	4	3					
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	3			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	3			
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	4			
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	2			
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	1			
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	1			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センターぐるんばさか(放課後等デイサービス)		公表日		2025年2月14日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・子どもさんの特性や社会性等に合わせて活動設定を行っている。	・定期的に生活シナリオを見直し、必要に応じて活動の設定や環境設定の調整をしていきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・子どもさんの特性や相性等に配慮し、職員が間に入って対応出来るようにしている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・子どもさんの特性に合わせて活動に必要なものは見えなくしておく等環境を設定している。	・子どもさんの障害特性や気づきに合わせた環境の中で、手立てなどを活用しながら課題・活動設定をしていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日清掃を行っている。	・引き続き室内の清掃・消毒を行います。 ・定期的におもちゃの欠損や不備などが無いかな確認を行い、必要に応じて整備します。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・子どもさんの特性や状態に応じて、個別で活動できるエリアを設けている。	・子どもさんの特性に合わせて活動内容や環境設定を検討していきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・週ミーティングの中で、課題や改善案について協議している。	・各職員が改善の意識を持って取り組み、職員全体で協議できるようにします。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・今年度より開所し、年に一度は保護者の方に評価をいただく機会を設けていく予定である。 ・送迎時や懇談時等、保護者の方のニーズを把握している。	・今後も、評価表と併せて、送迎時や懇談時等日々のやりとりの中でも、保護者の方のニーズを把握し、対応していきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・週ミーティングを行い、職員間で議論を出し合い、検討したり、情報共有している。	・検討内容や共有内容は支援に生かしていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・法人全体で協議、検討します。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・定期的に法人内研修や講師による研修を受けられる機会が設けられている。	・今後も職員の専門性を高めていくために、積極的に研修に参加します。 ・研修受講後は、事業所内全体で共有し、支援方法などを検討したりする機会を設けます。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・法人ホームページで公表している。	・継続的に支援プログラムを見直していきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・学年や社会性の異なる子どもさんが利用しているため、同じ活動を設定する際にも、個々のスキルに合わせた目標設定をしている。	・今後も、本人の理解やスキルに合わせて活動の設定を行います。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・管理責任者以外の職員も支援計画の内容を検討している。	・今後も、職員間で子どもさんの状況などを整理し、支援を検討していきます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・支援計画を職員間で共有し、それをもとに支援を行っている。	・支援の変更や追加がある場合には、職員間で共有し、一貫した支援を行います。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・療育中での子どもさんの様子の変化があれば週のミーティング等で共有している。 ・事業所内での共通の様式で、項目や評価表に沿って確認している。	・入園前のアセスメントだけでなく、入園後も継続的にアセスメントを行い、子どもさんの理解やスキルに合わせて支援を行います。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・事業所で設定された様式を使い、各領域ごとに細分化した内容で個別支援計画を作成している。	・今後も、子どもさんの様子や保護者の方のニーズを踏まえて、各領域での個別支援計画を作成します。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・週のミーティングで協議し、実施している。	・職員全体で活動プログラムの協議、振り返りをしながら進めていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・季節や行事に合わせて、様々な活動を行うことができるよう活動内容を設定している。 ・活動の流れが固定化しないよう調整している。	・季節や行事に合わせた活動を、子どもさんの理解やスキルに合わせて検討します。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・学年や社会性の異なる子どもさんが利用しているため、同じ活動を設定する際にも、個々のスキルに合わせた目標設定をしている。 ・個別場面から集団場面に、段階を踏んで取り組んでいる。	・継続的に社会性の発達段階のアセスメントを行い、個々の社会性の段階に合わせた活動の機会を設定します。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・朝礼を行い、職員間で支援の内容や役割分担、こどもの情報を共有している。	・子どもさんや予定について情報共有を行い、一貫した支援を行います。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・週に一度のミーティングで、支援の振り返りや今後の支援についての検討をしている。	・今後も、定期的に振り返りを行い、今後の支援に繋げていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・子どもさんごとにケース記録を作成し、日々の支援について記録を残している。	・ケース記録と併せて、定期的に支援の振り返りを行います。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・年に2度、モニタリングを行っている。	・今後も定期的なモニタリングを行い、子どもさんの実態に沿った支援計画を作成します。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・個別支援計画に基づき、個別場面や集団場面での活動を設定している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・それぞれの活動場所で何を使って活動するか、子どもさんに選択してもらう機会を設定している。	・子どもさんの理解や気づきに合わせて、自己決定支援を行います。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・地域の保健師や相談員、学校等と連携して支援を行っている。	今後も、必要に応じて連携していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・学校の教員との連携・情報共有は必要に応じて行っている。 ・年間計画や行事予定等は、保護者の方から情報伝達していただいている。	・保護者の方や学校と情報共有しながら適切な対応に努めます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・開所間もないため、就学後の利用の子どもさんばかりであるが、利用のあった他の放デイとも、必要に応じて情報共有を行っている。	・必要に応じて、関係機関との情報共有を行います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		※開所まもないため、そのようなケースがない	・今後、移行される場合には、関係機関との情報共有の場を設けます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			・他機関や専門機関の研修に参加し、連携・対応できるように努めます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			・子どもさんの障害特性や保護者の方からのニーズをもとに、設定の有無について検討します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・定期的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時や電話対応、懇談等を通して、子どもさんの学校・家庭の様子を共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・個人懇談を定期的に行い、必要に応じて面談を行っている。	・保護者の方が、子どもさんの障害特性の理解や支援方法等の情報が得られるような場を設定していきます。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・利用契約時に、書類を用いて説明している。	・必要に応じて、入園後も必要な内容について説明を行います。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・ 懇談時に保護者の方のニーズや現状の聞き取りを行い、支援計画の確認を行っている。	・ 今後も、子どもの実態や保護者の方のニーズを踏まえて支援計画を作成します。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・ 年に2回の個人懇談で、保護者の方と支援計画の共通認識を行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・ 個人懇談や面談を行い、必要に応じて家庭訪問を行っている。	・ 今後も、個人懇談や面談等を行い、保護者の方からの相談に応じ、支援していきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		・ 保護者の方からのニーズに合わせて、機械の設定等を検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・ 担当者を配置している。	・ 受け付けた内容については書面で記録し、対応や改善方法を職全体で協議・共有します。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・ 法人ホームページのブログに活動の様子等を発信している。	・ 今後も子どもさんの活動の様子を発信していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・ 配布物をお渡しする時は事前に配布物や記載情報、氏名の確認を行い、渡し間違いや個人情報の漏洩の無いよう徹底している。	・ 職員全体で意識して取り扱います。また、適切な取り扱いについて協議します。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・ 言葉だけでなく、視覚的な手立てを活用して情報を伝えている。	・ 今後も子どもさん一人一人に合わせた視覚的な手立てを活用していきたいです。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・ 法人全体で実施している。 ・ 施設内の見学や説明会等の機会を設けている。	・ 今後も、地域の方に取り組みをしていただけるような事業運営を検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	・ 感染症対策や対応について協議している。	・ 感染症や緊急時の対応についてのマニュアルを、協議し作成します。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・ 契約の時に子どもさんの様子服薬やてんかん発作等子どもの状況を知り得ている。	・ 服薬量に変化があった場合には、職員全体で共有し、子どもさんの様子の変化がないか注意します。 ・ 保護者の方に確認しながら、服薬やてんかん発作等のマニュアルを作成し、対応しま
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	・ 保護者の方にアレルギー確認同意書を記入していただいている。	・ アレルギー反応が出た際の対応方法について、職員全体で確認・共有します。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		・ 子どもさんの安全確保の取り組みについて、保護者の方に周知していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ 週ミーティングで、ヒヤリハットを情報共有し、改善案を出し、業務に生かしている。	・ 未然に防ぐために、予測出来ることを日々、情報共有します。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・ 研修の機会を定期的に設定している。	・ 今後も継続的に研修に参加し、職員一人一人が意識していけるようになります。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・ 必要な対応について保護者の方に説明し、了承を得ている。	・ 必要な対応がある場合には、保護者の方への説明を行います。 ・ 事業所全体で協議し、子どもさんの障害特性や理解に合わせた支援を行います。	